

YPUドリームアドベンチャープロジェクト2017選考結果



選考の結果、A部門7件・B部門1件のプロジェクトが採択されました。

○A部門	
<p>新キャンパス魅力化計画 ～テラスを地域の拠点に～ 文化創造学科 3年 久米 愛美</p>	<p>【プロジェクトの目的】 新キャンパスで4つの企画を行い、地域の方にとっても、大学生にとっても魅力的なキャンパスにし、大学が地域の文化拠点になるためのきっかけを作る。</p>
<p>県大生フレスツ 凧揚げ教室 ～萩市見島の「鬼ようず」をつくろう！～ 文化創造学科 2年 竹本 吉之介</p>	<p>【プロジェクトの目的】 「立春の季に空に向くは養生の一つ」という言葉が示すように、古くから健康や縁起によいとされ、親しまれてきた凧揚げを現代に呼び起こし、子供たちにその楽しさと文化を体験してもらうと同時に、山口県の伝統工芸に触れる機会を設け、自分の住む地域への関心を相対的に高めることが目的。 ※対象は小学1～3年生とその保護者、計30名を予定</p>
<p>YPU 足湯de健康Café ♥ 看護学科 2年 米田 真子</p>	<p>【プロジェクトの目的】 地域や学内の新しいつながりの場として、足湯をしながら簡単な健康チェックを行い、健康への意識を高める。足湯に入浴剤やアロマを使用したり、足湯に入りながらお茶を飲んだり軽食を食べたいすることでリラックスしてもらう。</p>
<p>日韓で考える！私たちの平和 国際文化学科 2年 神山 薫</p>	<p>【プロジェクトの目的】 実際に日本で戦時中に行っていたことを、施設を訪ね見聞きし実際に展示資料等を見学することで学習の理解度を高めることを目標として挙げられる。 またこれから世界が平和であるために、自分たちに出来ることやすべきことを考えるきっかけを日韓参加学生に与える。</p>
<p>YPU Friendship Week ～YOUたち みんな お友だち～ 国際文化学科 4年 猪熊 佳恵</p>	<p>【プロジェクトの目的】 学期始めのオリエンテーションの中に、“人との交流”の機会がなく、学部・学科間の壁がある。そのため留学生や先輩が遠い存在のように感じられ、知り合うきっかけがない。この現状を打破するため、YPUの学生・交換留学生が学年学科問わず、新たなオリエンテーションの一つの形として「Friendship Week」を企画し、夏休み明けの学校生活を楽しくスタートさせるきっかけをつくる。</p>
<p>放置自転車ピカピカ(美化美化)大作戦 国際文化学科 4年 宮崎 まいな</p>	<p>【プロジェクトの目的】 大学は所有者が現れず放置された自転車に対して張り紙をし、持ち主が現れない際には撤去などの対応を行っているものの、2017年5月8日現在南キャンパスの放置自転車は100台以上存在する。本プロジェクトにより南キャンパスの利用可能な状態の放置自転車約20%を修理し、自転車を必要とする学生に譲渡することによって大学構内の放置自転車の数を減少させる。さらに全学生に対してワークショップやポスター掲示、シール配布などの啓蒙活動を行うことにより放置自転車の数を減少させ、美化に努める。</p>
<p>「県立大生と訪ねる やまぐち案内ブック」づくり企画 国際文化学科 2年 伊藤 光平</p>	<p>【プロジェクトの目的】 山口県立大学の学生たちが山口の魅力についてより深く知り、外からのお客様を案内できるようにするためのハンドブックを作成する。プロジェクト参加者以外にボランティアで何人かの学生に協力してもらい、それぞれの山口市の旅行プランや、山口県民によるやまぐち学、他県民や留学生による驚きのやまぐちなどについて取材し、ブックレットとして印刷して、あわせて電子化する。</p>
○B部門	
<p>YPUジャントin山口・昌原 -飛び出そう！繋ごう！- 国際文化学科 4年 吉田 愛</p>	<p>【プロジェクトの目的】 本プロジェクトの目的は、山口を飛び出し、人口減少や過疎化といった山口市と似たような問題を抱える姉妹都市・韓国昌原市の地域の現状や取り組みを知ることによって新たな考えを学び、それを共有し応用していくことで双方の地域を繁げ、活性化させることである。これまでの「慶南&YPUジャント」「クロスロード」の活動を通し、地域活性化活動を継続して行うことの重要性を学んだ。そこで2つの活動の成果と反省点を生かし、山口・昌原両市の姉妹都市としての認知度向上と、持続可能な地域活性化活動としての定着を目指す。</p>